枕崎の特色ある教育

インターネット環境機器の使用は午後９時までとする

問合せ　生涯学習課　TEL72-0170

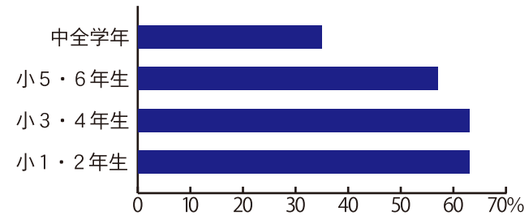
枕崎市ではメディアの氾濫から子供たちを守るために、「ノーメディア・メディアコントロール」の取り組みを進めています。これは子供たちの基本的な生活リズムを確立し、家族団らんや家庭でも学習時間を確保し、激しく変化していく社会を自らの力で切り開き、生き抜く子供の育成を目指すものです。

小・中学校が連携して「ノーメディアデー」の取り組みを実践していましたが、保護者から「日頃の取り組みが大切」、「ノーメディアデーはハードルが高い、アフターナイン（午後９時以降はメディア等を使わない取り組み）を確実に取り組むことが現実的である」、「学校任せではいけないと思う」等の意見がありました。

そこで、平成30年12月から枕崎市校外生活指導連絡会の共通理解事項に「インターネット環境機器の使用は午後９時までとする」を追加しました。令和元年５月には、枕崎市PTA連絡協議会の努力目標としても取り入れられ、学校、家庭、地域が一体となって実践する取り組みとなっています。

現在では、各学校で学級ＰＴＡや学校保健委員会の議題としても取り上げられる、枕崎市の特色のある教育の１つとなっています。

「インターネット環境機器の使用は午後９時までとする」に主体的に取り組んだ子供の割合（7月調査）



○調査結果

多くの子供が、ノーメディア・メディアコントロールに主体的に取り組んでいます。しかし、その割合は学年が上がるにつれ低くなり、中学生になると急激に低くなっています。学年に応じたルール作りをするなどの工夫が必要です。

「ノーメディア・メディアコントロールにどのように取り組めばいいのか？！」

ご家庭で「ノーメディア・メディアコントロール」に取り組むポイントは、「まくらざき家庭教育手帳」で紹介しています。枕崎市のホームページからも閲覧することができます。ぜひ一度、ご覧ください。

「ノーメディア・メディアコントロール」について、知りたいこと、分からないことがある方は、生涯学習課までお気軽にお問い合わせください。

▲まくらざき家庭教育手帳

健康ちゃんねる

問合せ　健康センター　TEL72-7176

予防接種は、忘れずに予約をしましょう！

乳幼児の保護者の方へ

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。特に、生後２カ月から予防接種を受け始めることは、お母さんからもらった免疫が減っていくときに、赤ちゃんがかかりやすい感染症（百日せき、細菌性髄膜炎など）から赤ちゃんを守るために、とても大切です。

新型コロナウイルス感染症が流行する中、不要不急の外出自粛が要請された時期もあり、予防接種に赤ちゃんを連れて行っても大丈夫？と不安になることがあるかもしれません。しかし、子どもの予防接種は決して「不要不急」ではなく、医療機関では感染防止対策が取られています。受診の前には、体温を測定するなど体調に問題がないことを確認し、帰宅後は、お子さん、保護者とも手洗いなどの感染対策を行い、予防接種を受けましょう。

また、平成24年４月２日から令和２年４月１日までに生まれた小児には、インフルエンザの任意接種費用への一部助成があります。

65歳以上の方へ

昭和30年10月２日までに生まれた65歳以上の方には、インフルエンザ予防接種の予診票が９月に郵送されています。高齢者のインフルエンザや肺炎球菌の予防接種は、予防接種法でＢ類疾病と呼ばれる定期接種であり、個人予防目的のために、自らの意思と責任で接種を希望する場合に行なうものとされています。

今年のインフルエンザ予防接種について

新型コロナウイルス感染症の流行が懸念される中、インフルエンザワクチンの需要が高まる可能性があるため、厚生労働省から優先的な接種対象者への呼びかけが行われています。定期接種対象者（65歳以上の方等）で希望される方は10月１日から接種を行い、それ以外の方は10月26日までお待ちいただくこと、日本感染症学会の提言では医療従事者、65歳未満の基礎疾患を有する方、妊婦、小児（特に生後６カ月～小学校２年生）への接種を推奨しています。ただし、これらの方以外でも希望する方の接種は可能です。

図書館だより

No.342

市立図書館　72-9254

ホームページ
https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/
★開館時間　9:30～18:00

カレンダー　10月10日～11月７日

日	月	火	水	木	金	土
						10月 10
11	12	13	14	15 ★	16	17
18	19	20	21	22	23 ○	24
25	26	27	28	29	30	31
11月 1	2	3	4	5	6	7

□ 休館日　★ イベント
○ おはなしのへや　午後３時～
（絵本と紙芝居の読み聞かせ）

音訳ボランティア「ひだまり」について

●活動内容　毎月、「広報まくらざき」をＣＤに音訳し、視覚障害の方へお届けしています。
●今月の担当　牛山さん、野村さん
●会員募集中　問い合わせは図書館まで。

新刊紹介

●一般書　○児童書

●九州の稀少植物探訪Ⅰ 草本（早春～晩夏）編／大工園　認（著）／南方新社
●黙示／今野　敏（著）／双葉社
●親をボケさせないために、今できる方法／藤田　紘一郎（著）／扶桑社

○命のうた～ぼくは路上で生きた　十歳の戦争孤児～／竹内　早希子（著）／石井勉（絵）／童心社
○ロスト・ワールド　恐竜の世界／コナン・ドイル（作）／芦辺　拓（編訳）／学研プラス
○ミス・マープルの名推理　予告殺人／アガサ・クリスティー（著）／羽田　詩津子（訳）／早川書房

第74回全国読書週間　10月27日～11月９日
標語「ラストページまで駆け抜けて」

「犯人は誰!?　ミステリー」展

「早く結末が知りたい！」「気になって、眠れない！」、そんなドキドキハラハラするような本の展示をします。
ぜひご利用ください！

パープルリボンツリーを設置します

『女性に対する暴力をなくす運動』
図書館では市役所企画調整課と連携し、11月１日～25日の期間中、パープルリボンツリーを設置します。また男女共同参画やＤＶに関する本の展示・貸出し・しおりの配布も行います。

イベント

雑誌リサイクルデー

保存期間の過ぎた雑誌（2018年１月～６月分）を差し上げます。
どうぞお楽しみに！
日時：10月15日（木）　午前９時30分～

※新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、イベント等を延期もしくは中止する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※市立図書館は工事のため、２月末日まで南薩地域地場産業振興センターで運営しています。

防災一口メモ

いざという時のために

自らを守る防災⑨（災害に備えて）

台風の接近前にどのような備えをすればよいでしょうか？

まず、暴風対策として、家の周りの飛ばされそうなものを固定する。お風呂に水を張ってトイレなどの生活用水として確保する。また、飲料水や食料の確保、停電のために懐中電灯を準備しておきましょう。最新情報を確認して、避難をする場合は、食料、寝具等を準備して風が強くなる前に早めの避難を心がけましょう。避難所へ避難する場合は、新型コロナウイルス感染症予防に努めましょう。

問合せ　総務課危機管理対策係　TEL72-1111（内線214）

枕エコ

MAKURAZAKI ECO PROJECT

環境・ごみ減量・動物愛護などに関する情報を発信するコーナーです。

今月のテーマ

今月は「３Ｒ推進月間・食品ロス削減月間」です

今月は３Ｒ推進月間および食品ロス削減月間です。
詳細については12ページに掲載していますので、ご覧ください。

3R reduce reuse recycle

食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT

問合せ　市民生活課環境整備係　TEL72-1111（内線325）